

令和3年度 文京区障害者地域自立支援協議会

第2回 就労支援専門部会 要点記録

日時 令和3年12月13日(月)14:00~15:30
場所 ハイブリッド式開催(文京区シビックセンター 障害者会館会議室 AB/ZOOM)
出席者 (障害者会館 AB) 佐瀬祥子・藤枝洋介
(ZOOM) 志村健一・瀬川聖美・永尾真一・有村秀一・北村洋次郎・松井裕・小泉洋平
・南雲ひとみ・阿部光実・平井芙美・有村秀一・天野亨・石橋綾・中瀬茂由・伊藤博子
オブザーバー:トヨタループス 神谷氏・杉山氏・村瀬氏
欠席者 小林美千代・加藤たか子

<会議次第>

1 開会

2 議題

- (1) 令和3年度第二回ワーキングの報告
- (2) デザイン案について
- (3) 社会資源チャート
・内容について
- (4) 今後のスケジュールについて

<配布資料>

【資料第1-1号】

ハンドブックページ構成票・表紙案・社会資源確認チャート・社会資源相関図・文京区社会資マップ・事例

【資料第1-2号】

もくじ・移行支援事業所・就労継続A、B 定着支援・就労の社会資源・生活の社会資源・事例にご協力いただいた事業所・障害者雇用について・ハートフル工房・ジョブーる文京

(1) 事務局より令和3年度第2回ワーキングについての報告(令和3年11月11日開催)

社会資源ページ作成にあたっての、各事業所からの質問と回答について

① 表記の仕方について

・「障害の種別」

発達障害、難病も対象としている事業所からそれについて表示してほしいと意見があった。事業所ページ

右上部分に発達、難病も表記する。

・「見学体験」

当初「見学実習」となっていたが、実際には実習よりも体験が多いため「見学体験」へ表記変更。職業センターなど体験の仕組み自体がない事業所については横線で表記。

②「地域活動支援センター」について

地域活動支援センター利用者で就労をしている方もいて、憩いの場的な意味合いもあり、就労に全く関係ないわけではないという理由から入れた方が良いという意見。一方で対象を広げすぎることについての懸念と、載せる場合に社会資源マップに載せるか、フローチャートをどうするかなどの検討が必要。

③「生活あんしん拠点」について

R3年10月に生活安全拠点へ掲載の依頼を行ったが、まだ4拠点揃っていないため辞退したいと回答があった。しかし就労支援にも大きく関りがある地域の資源であり、今後も掲載について再度働きかけを行っていく。12月14日、生活安心拠点の会議でハンドブックについて説明を行う時間をいただいております、事務局から再度説明予定。前回は見本がない状況での掲載依頼であったが、今回は見本を提示することでイメージがわかりやすくなるのではないかと考えている。

④ルビや見せ方について

社会資源ページにルビを入れる、ユニボイス、ユニバーサルカラーを取り入れる。

(2) デザイン案について (3) 社会資源チャート、他内容について

①「社会資源チャート」について

(藤枝委員から説明)

- ・“分かりやすく”をテーマに、就労中・休職中を一本化し一枚でおさまる形に作成し直した。
- まず、「現状どんな状況の方か(人)」でスタートを設定(表、左側)、上段は、「これからどうしたいか(今後の希望)」で分類、下段は、現在の悩み別に分類した。
- ・相談窓口すべてのサービスを落とし込むのは難しく、相談のきっかけとなるチャートを作成するという意図で作成した。
- ・地域活動支援センターをハンドブックに入れるか否か、入れるとしたらマップにだけ入れるか、チャートに入れるか意見がほしい。『こころの健康ガイド(精神の方向け)』には掲載されており、ハンドブックとの使い分けという意味で、そこに載っている旨だけ載せるという方法も。

— 意見 —

■地域活動支援センターの件

・使い分けという意味では、『こころの健康ガイド』からつながっていく方が多いのではないかと。「生活あんしん拠点」、「基幹相談センター」が抑えてあればよいのでは。

- ・就労中の方でも利用している方はいるので、記載した方がよいのではないか。
- ・地域活動支援センター区内 6ヶ所のうち、3つは精神、残り3ヶ所は、身体・知的対象の事業所である。就労支援というより居場所、余暇活動がメインの事業所である。就労支援のハンドブックとは主旨が違うのではないか。

→瀬川委員：精神メインの事業所の情報収集し、ワーキングで検討する。

- ・特別支援学校卒業生で不登校傾向だった生徒が、地域活動支援センターを活用して安定し就労を目指すというケースもある。しかし、基幹相談センターからもつながるので、生活の悩みと就労を分けるとしたら『こちらのハンドブック』に載っている、そこに触れるようにしていけばよいのではないか。

- ・就業中の方でも土日の生活支援、就労相談先として利用しているケースがある。居場所の側面が強いがそれだけでもない。行政が対応できない土日の就労支援の部分をどう掲載するかという視点で考える。

- ・載せてほしい。働きたくても働けない人の居場所が示せたらよい。

→最終（瀬川委員）

I型は土日も稼働しており、働いている人が行政が休みのときに相談しに行くことは確かにある。資源マップか何かに少し載っている方がよいか、持ち帰り検討する。

■デザインの件

- ・スタートの4つの枠色を変えることでチャートのスタートが分かりやすくないか→トヨタグループ了承
- ・スタートで「働いている人」と「働いていない人」が混ざっている、これから働く人、在職中の人を分けてはいいかがか。

→ハンドブックはこれから働きたい人が手に取るイメージ、働いていない人が上二段ということか。

→チャートの矢印が分かりづらくなければ分けてもよいのでは。

→ハンドブックの読者（就労支援）という視点ではこのままでもよいのではないか。

→悩みの内容に共通する相談先機関の関係でこの並び順になった経緯がある、他に分かりやすい並び順あれば。

→事務局でもう1パターン作成してワーキングで見直すか

➡結論（志村委員）

二番目と三番目を入れ替えるだけなら問題ないようである、入れ替えをお願いしたい→トヨタグループ了承。

■ユニボイス（天野委員へ意見を求める）

- ・文章はそのまま対応できるが、チャート系が難しい。ユニボイスにおとすとチャートの矢印の順番通りに音が流れてくることにはならない、別の方法を考える必要がある。字数制限 1000 文字、それをこえると編集が必要。

→（藤枝委員）

チャート系については、そのページの目的、相談窓口がどんな所かを文章表現でユニボイス作れたらと考えている。社会資源相関図についても同様に作成予定。

■表記について

矢印もれ

- ・こころの不安の悩みの矢印が切れている 医療機関保険サービスセンターへ「はい」でつながるでよいか。
- ・職場の人間関係のあと「いいえ」のみ、「はい」でナカポツ・職業センター・就労支援センターにつながるでよいか。
- ・賃金、労働相談の悩みの矢印がない、労働相談情報センターへつながるでよいか。

誤字

- ・10 保健サービスセンター
- ・11 基幹相談支援センター

表記ゆれ

- ・“障害のある方”、“障害者”など表記ゆれがある、統一できれば。
- “障害のある方”や“障害をお持ちの方”がよいのではないかな。

機関名 13 番、14 番がチャートの中にある

- 事務局も不明、確認する

■他意見

- ・すべてを網羅するのは難しい。必要最小限、就労に関することが網羅されているという意味ではこのチャートで整理されており、これで一回やってみてよいのではないかな。確実に間違いというものなければゴーサインを出すのも一つの手だと考える。

②社会資源マップについて

[主な支援学校]について

- ・現状、地図の外に文字だけでまとめて表現されているがマップ上に載るのか
 - 事務局：経緯としては、王子特別支援学校に事例を出してもらったが、位置的に地図上で載せられなかったため文字だけで表現をした。その際に他の支援学校も載せたという経緯がある。
- ・東大こだま分教室は、東大病院入院中の方が通う院内学級であって性質が違うかと思われる
 - 事務局：東大こだま分室を卒業された方で、まだ就職には至っていないが就労支援をしている方がいるため記載した。→載せる
- ・北特別支援学校は載せなくてよいのか、文京区から通学していないか。
 - 松井委員：載せてよい。学区であり、今年就労者も出た。毎年ではないが支援センターの関わりは出てくる。
 - 載せる

③ハンドブック表紙について

表紙 4 案について説明(トヨタグループ有村氏、村瀬氏)

- ・オリジナルデザイン
- ・樹木一種類と、青のシビックセンタータイプ三種類の提案

・青のシビックセンタータイプは、飛行機の線の見えやすさを考慮してシビックセンターのところのテイストを少しずつ変えてある。

それぞれの障害を持っている方が紙飛行機を投げている、それぞれ違った方向に飛んで行っている様子は、障害のある方それぞれが違った方向に可能性があるという意味合いで作成した。ハンドブック作成によって、こうなしてほしいというものがあつたので、その考えを元に考えたデザインである。

・区役所という設置場所を考えると、青の方が目立つ。樹木タイプは他の資料等で似たものが多い印象。

・デザイン、印刷関係の取りまとめを行っている社員は、障害当事者である（身体）、印刷、製本の段階に入る時に知的、精神障害など多様な障がい抱えている社員が関わっていく。障害のある方のためのハンドブックだから当事者が作るというだろうというところでそうした。

表紙案の決定時期について

（藤枝委員）

ワーキングでアンケートを予定している、その後決めてもよいか。

予定として、来年の部会の案内とともにアンケート送付予定、年内に返信をいただくことになっている。

（樹木か青か、青であれば4案から一つまで絞ってもらう）→トヨタグループ了承

➡表紙デザインを行ったトヨタグループ村瀬氏から、それぞれのページの思いを含めた説明文を事務局に送る。それを含めてアンケートを実施する事となった。

表紙案について他参加者からの意見

・青は、今までの福祉系とは違うシャープなイメージ、未来に広がっていくイメージでよいと感じる。

・ハローワーク内で、樹木と青どちらがよいかアンケート取った結果僅差だが樹木の方がやや多かった。新しいバージョンを持ち帰りまたハローワーク内でも検討する。

・文京区のシンボルが入っているのはよいと感じた。

・障害のある方の絵も使ってほしい

・シビックホールがあると文京区というのが分かりやすい

④他ハンドブック全体への意見等

・ハンドブックを、どういう風に必要な方に届けていくか検討していく

・ぜひ「形」になって東大病院内でも使わせてほしい

・必要とするたくさんの方に届くといい

・天野委員より、分からないことが多く事務局と話しながら理解していきたいとコメントあり、瀬川委員から説明の機会を設けたいと回答

・トヨタグループより

誤植については赤を入れてほしい、修正を行う。本日の資料は、まだ今日のためのたたき台である、ある程度決まってから構成を決めていく予定。

・もくじ9番[医療]について

リワークを実施している医療機関一覧を作成したかったが、一覧がない。かかりつけ医マップ検討している。→
15番[その他活用できるハンドブックなど]に含む予定

・就労支援センター開催の『生活講座』にてアンケートを行った結果を報告（参加者：知的障害 7名）

表紙案・・・樹木 4名／青 3名

内容としてあったらいいと思うもの・・・転職する際のハローワークの利用の仕方

設置場所・・・区役所、図書館、公共の場所だと手に取りやすい

マップの目印に入っていたらいいもの・・・大学、神社、お寺

(4) 今後のスケジュールについて

次回の部会は、2月開催予定（調整中）